

嶮山小学校 「豊かな心の育成」推進プラン

嶮山小学校 学校教育目標

「夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったかハーモニー」

- (知) 自ら学びしっかり考える子を育てます (徳) 思いやりのある子を育てます
- (体) たくましい子を育てます (公) まちと共に生きる子を育てます
- (開) 夢をもち、チャレンジする子を育てます

嶮山小学校 児童の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

- ・素直な反面幼さ、自信のなさ、克己心の不足が見られる。
- ・交友関係が狭く、放課後の集団遊び、外遊びが少ない。
- ・協力的な保護者が多いが、家庭環境、教育に対する意識に開きが見られる。
- ・たてわり活動の継続により、上学年が下学年に温かく接する姿が多く見られる。
- ・児童や学校に対して温かな地域だが、児童から地域への働きかけが少ない。

<嶮山小学校「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針>

- ◎ 道徳心、公德心をもった子を育てます。
- ◎ 自分や友だちを認め、大切にすることを育てます。
- ◎ 学んだこと、考えたことを生かす子を育てます。

「道徳の授業」の充実

- ・年間35時間の道徳の授業を計画的に行い、振り返りを通して実践へとつなげていく。
- ・道徳の副読本の内容を指導目目に合わせ有効に活用する。
- ・適宜、各学年の道徳のカリキュラムを見直し、資料を整備していく。
- ・道徳の授業と他の学校生活との関連をはかり、学習を総合化していく。

教育課程

- ・少人数指導や個別対応を通し、一人ひとりを大切にしたい指導に努める。
- ・たてわりのキッズ活動を通して主体性や思いやりの心を育む。
- ・体験活動を充実させ、協調性や規律、社会的スキルを身につけられるよう指導する。
- ・読書活動、保護者や学生ボランティアの読み聞かせ活動を通して豊かな人間性の育成を図る。

地域・保護者との連携

- ・適宜面談、家庭訪問などを実施し、保護者と情報を共有し、指導に生かす。
- ・教育活動を広く地域に公開し、保護者や地域の方々との相互理解を図る。
- ・地域コーディネーターの協力を仰ぎながら、地域教育力を活用する。

豊かな感性や情操の育成

- ・「嶮山スタンダード」にもとづき、全職員が組織的に児童指導にあたる。
- ・人権教育を充実させ、豊かな人権感覚が身につくよう指導していく。
- ・個別級と一般級の交流をできるだけ多く実施し、子ども同士互いに支え合い、助け合える態度を育てる。
- ・教室の整理整頓、掲示物、花壇環境の整備、動植物の環境整備に努め、子どもたちの豊かな情操教育に取り組む。
- ・Y-Pアセスメント、学習状況調査の結果を活用し、日々の教育活動に生かす。
- ・芸術鑑賞会、校内図工展、うたごえハーモニーなどの行事を通して、豊かな情操を育む。
- ・あいさつを奨励し、人間関係の基礎作りを意識させる。